



流域の概要

天塩川流域の概要

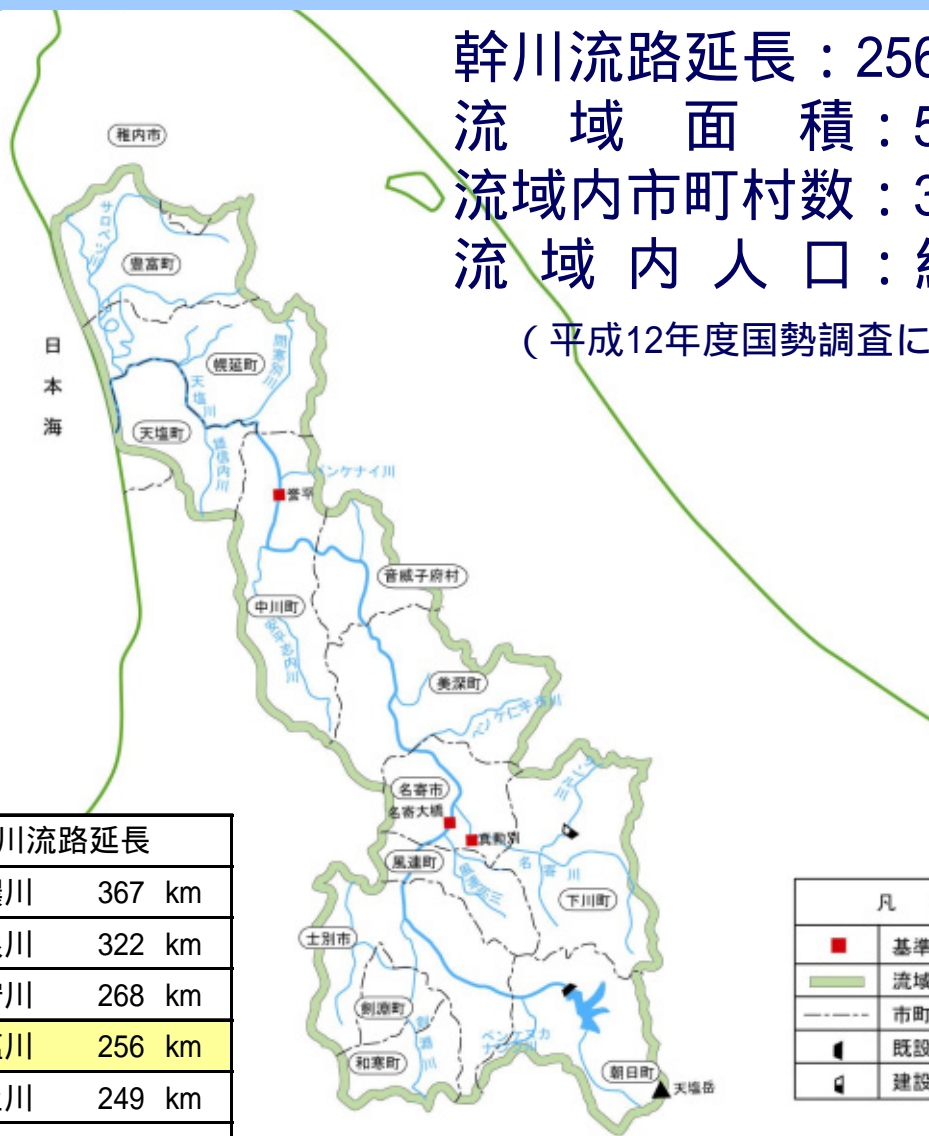
幹川流路延長：256km

流域面積：5,590km²

流域内市町村数：3市10町1村

流域内人口：約10万人

(平成12年度国勢調査に基づく算定値)



流域面積		幹川流路延長	
1. 利根川	16,840 km ²	1. 信濃川	367 km
2. 石狩川	14,330 km ²	2. 利根川	322 km
3. 信濃川	11,900 km ²	3. 石狩川	268 km
4. 北上川	10,150 km ²	4. 天塩川	256 km
5. 木曾川	9,100 km ²	5. 北上川	249 km
10. 天塩川	5,590 km ²		

凡 例	
■	基準地点
	流域界
	市町村界
	既設ダム
	建設中ダム

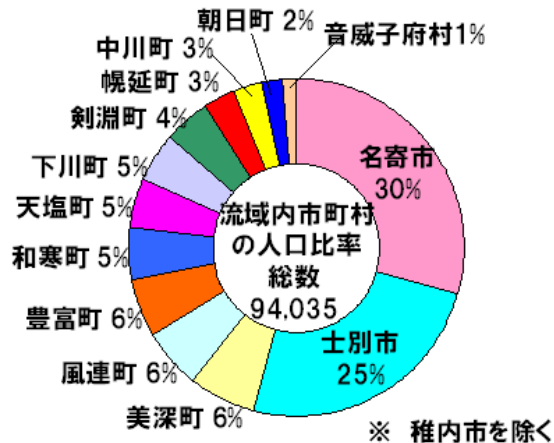
流域の土地利用(現況)

河川沿いに市街地や田畑・牧場などの土地利用が進んでいる。

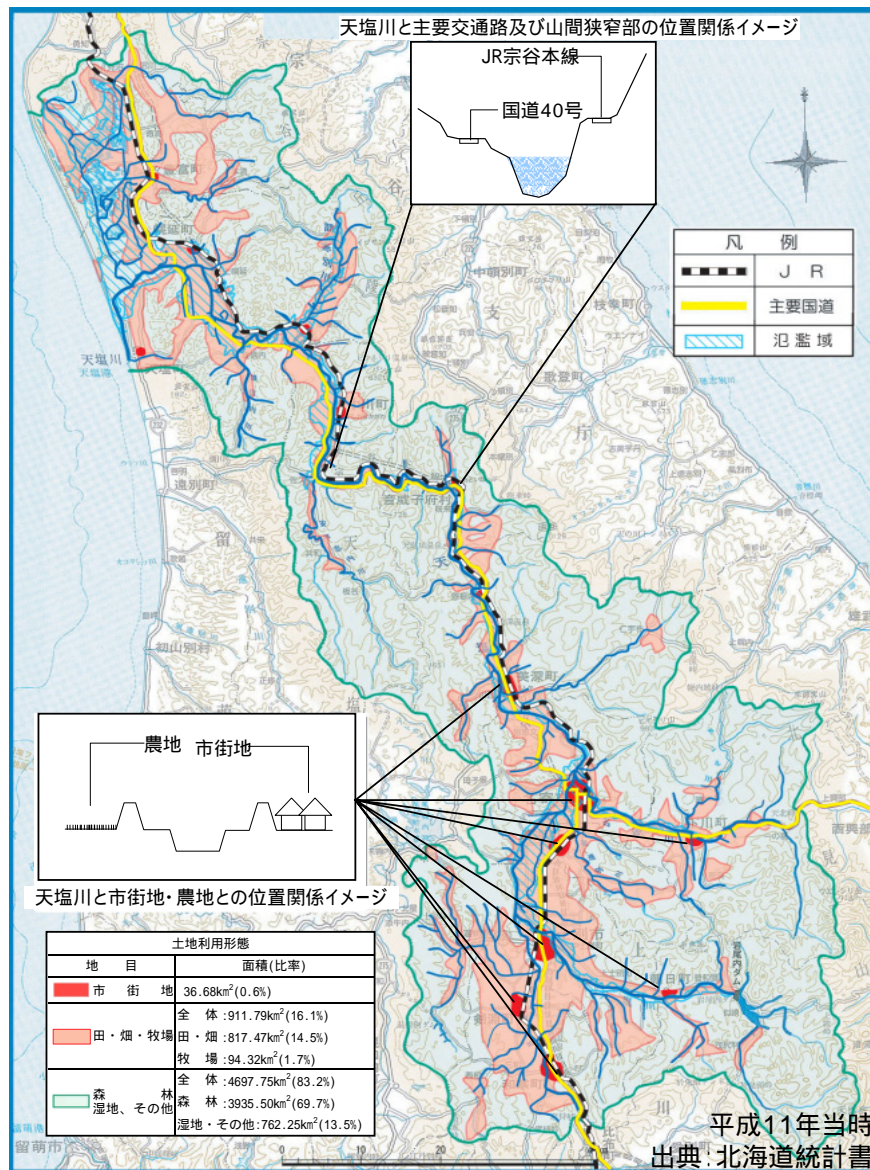
氾濫原に資産などが集積しているため、ひとたび破堤がおこれば大規模な洪水被害を受けやすい。

中流から上流でJR宗谷本線や道北につながる唯一の幹線である国道40号が、天塩川に併走している。

流域人口の約55%が名寄市と士別市に集中している。



平成12年10月1日 国勢調査



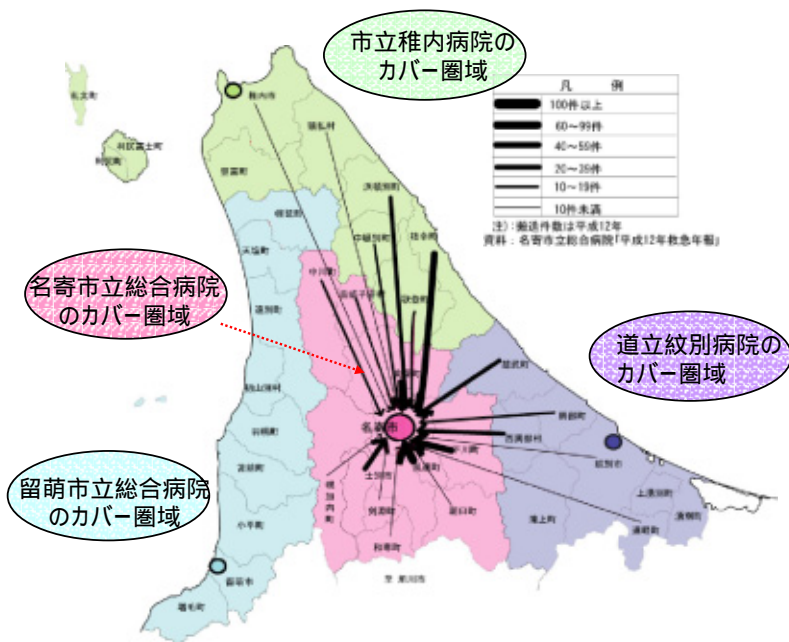
名寄市の特性

救急搬送

名寄市立総合病院は、旭川赤十字病院とともに道北医療圏を支える第三次医療機関であり、年間1,200件以上の救急患者が搬送されています。

第三次医療機関とは二次救急医療機関では対応できない重篤の救急患者に対応する、高度な診療機能をもつ24時間体制の救命救急センターである。

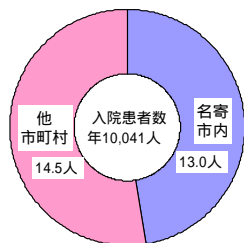
< 名寄市立総合病院への救急搬送件数(H12) >



その他の医療面

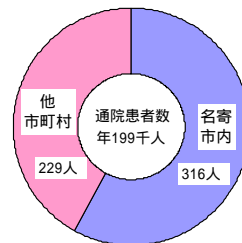
入院、通院、人工透析、出産などで、多くの患者が名寄市立総合病院に依存しています。

< 入院患者数 >
(日平均)



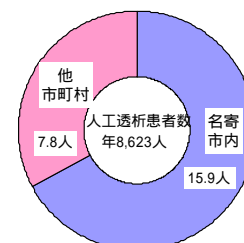
注: 平成13年度 資料: 名寄市立総合病院

< 通院患者数 >
(日平均)



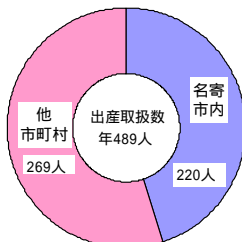
注: 平成13年度 資料: 名寄市立総合病院

< 人工透析患者数 >
(日平均)



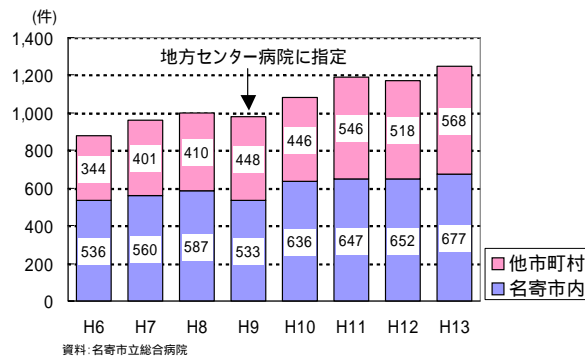
注: 平成13年度 資料: 名寄市立総合病院

< 出産取扱数 >
(年間)



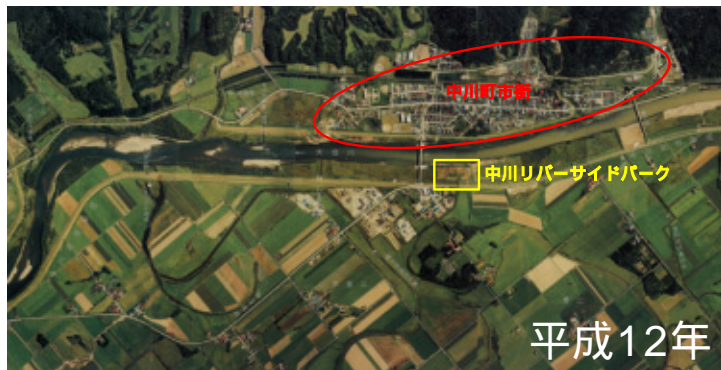
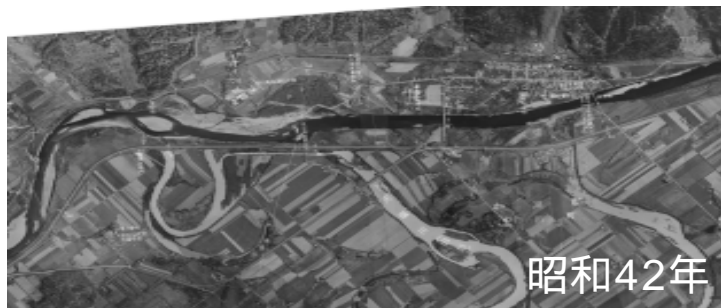
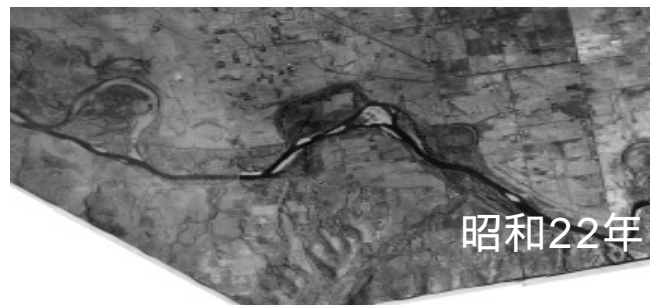
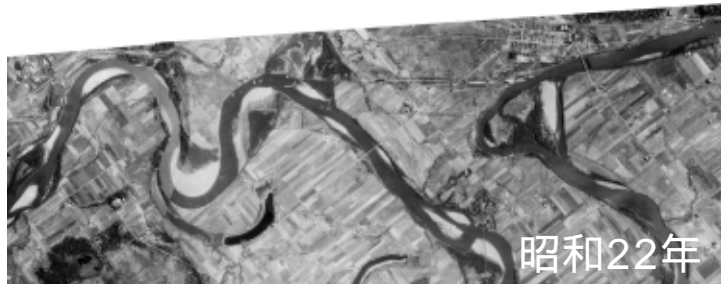
注: 平成13年度 資料: 名寄市立総合病院

< 名寄市立総合病院の救急車来院件数 >



流域の土地利用の変遷

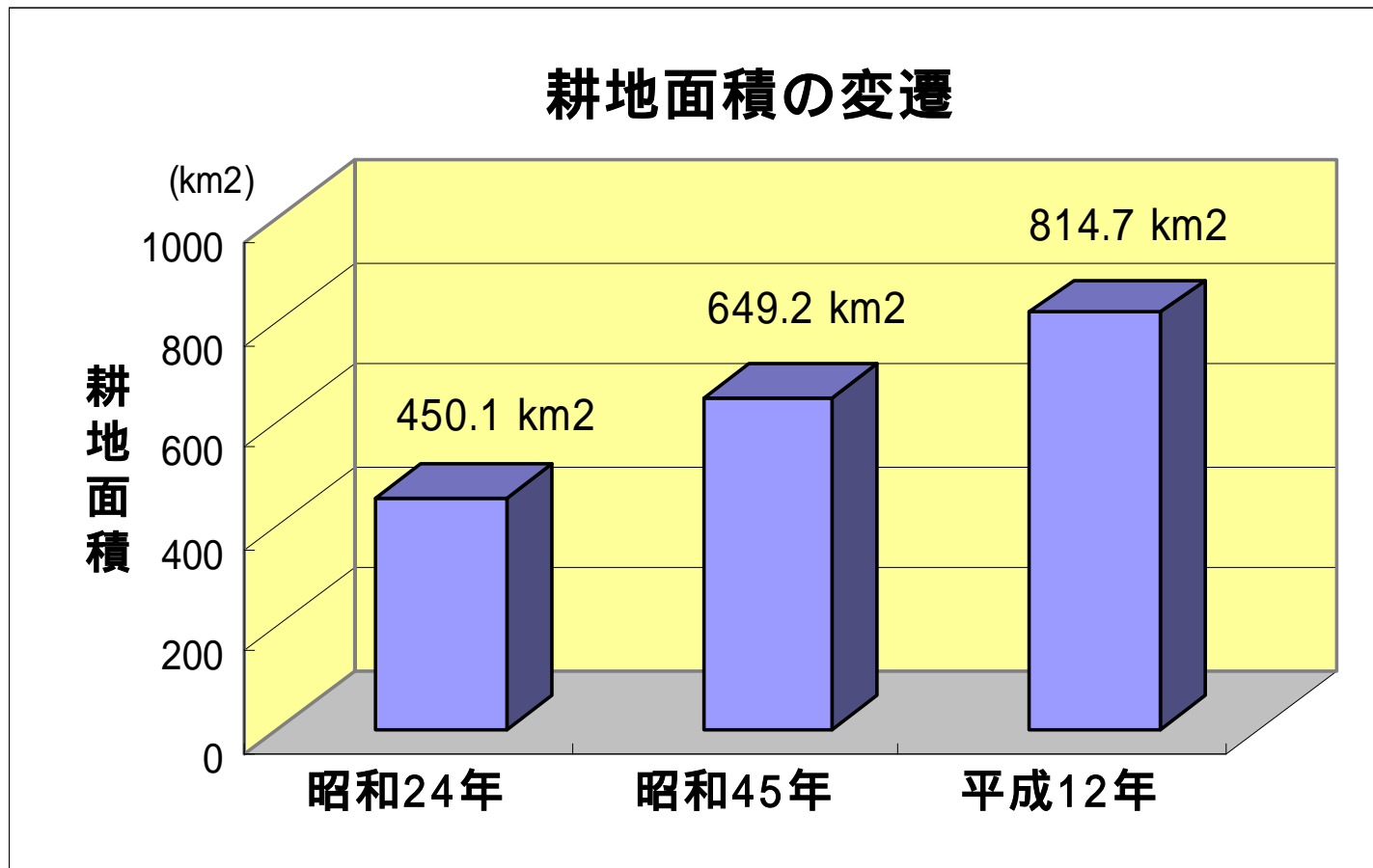
ショートカット(捷水路工事)が行われ、農地、市街地が形成され、現在の天塩川流域の礎を築いている。



中川町

風連町

天塩川流域は第1次産業が盛んな地域である。

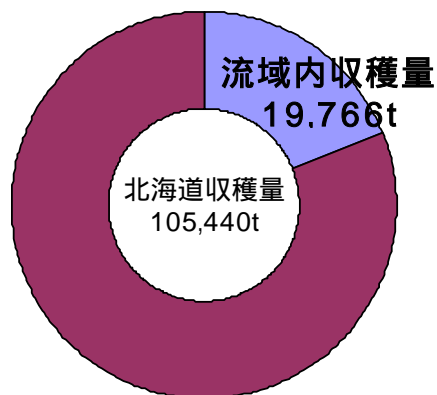


耕地とは、田、畑、牧草地の面積の合計である。

出典：北海道市町村勢要覧

農業は畑作が中心であり麦類や雑穀・豆類及び甜菜を中心とした工芸農作物が多く生産されている。

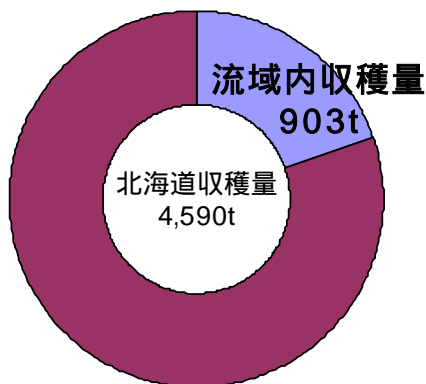
かぼちゃ



流域市町村	収穫量	全道順位
和寒町	7,590 t	1位
名寄市	4,220 t	3位
美深町	2,810 t	4位
士別市	2,100 t	10位
剣淵町	1,250 t	18位

流域内収穫量 19,766 t
全道における割合 18.8%

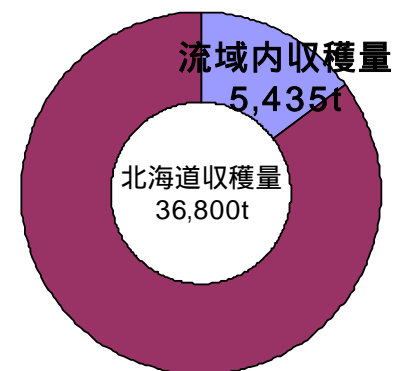
アスパラガス



流域市町村	収穫量	全道順位
名寄市	489 t	1位
風連町	141 t	6位
美深町	109 t	9位
剣淵町	84 t	15位
下川町	80 t	16位

流域内収穫量 903 t
全道における割合 19.7%

大豆



流域市町村	収穫量	全道順位
剣淵町	2,020 t	3位
士別市	1,850 t	4位
風連町	642 t	15位
和寒町	612 t	17位

流域内収穫量 5,435 t
全道における割合 14.8%

天塩川下流域では内水面漁業行われており、地域の重要な産業となっている。



増殖のためのサケ捕獲



天塩川のシジミ漁